

広報なすしおばら

NASUSHIOBARA Newsletter

4 / 5

April 2017 No.295

特集 まちの
光を
観る



旧青木家那須別邸 撮影:井上賢



板室温泉 鯉のぼり 撮影:吉村勝昭



塩原高原かぶ



竜化の滝



もみじ谷大吊橋 撮影:青山三郎



烏ヶ森公園の桜

特集 まちの光を観る

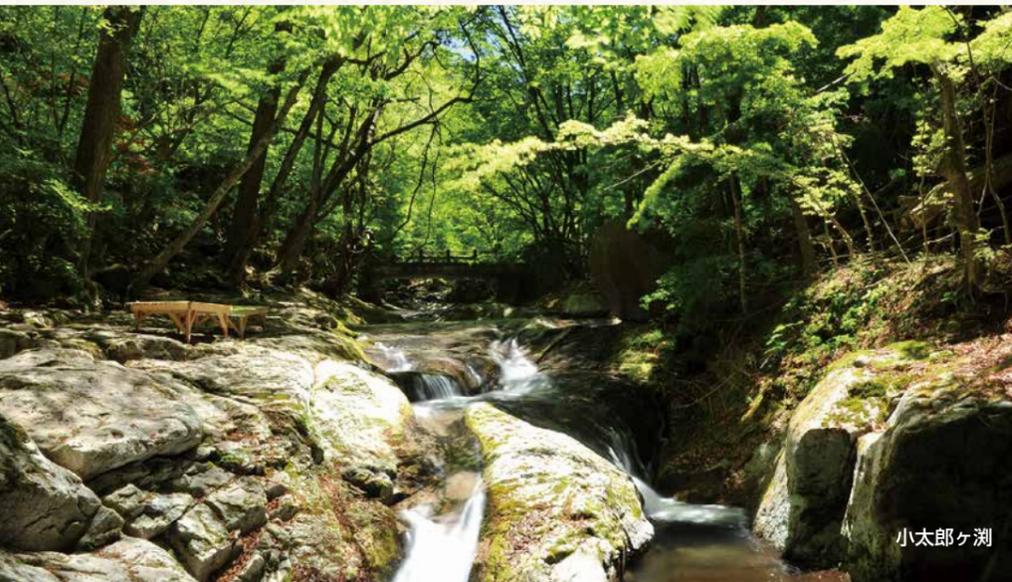
鳥たちのさえずりが届けてくれる春の便り。
足元に咲く小さな花々が
まちをにわかに色づけ始めます。
そして緑の渓谷、新鮮な野菜、安らぎの湯。
那須塩原の新しい魅力^{ヒカリ}を見つけてみませんか。

温泉が湧き、人々を癒してきたまち

私たちの旅の目的として最も多くあげられる「温泉」。古くからその自然の恵みは人々を惹きつけ、現存する日本最古の正史「日本書紀」にもその記述があるほど。地下から自然と湧き出る不思議な温かい泉は、人智を超えた神秘的な存在として、人々は畏怖・畏敬の思いを抱いてきた。身体の病や怪我を癒してくれる奇跡の水を人々は崇拜し、ときに信仰の対象とまでなっていた。那須塩原にも数カ所ある温泉神社は、このまちが古くから温泉とともに歴史を歩んできたことを物語っている。

昔は自然に湧出する場所が限られ、その希少性から領地争いが生じるほどだった温泉。技術の進歩により、地中深くまで掘削できるようになり、温泉地の数は増加の一途を辿ってきた。現在、日本全国には3000以上の温泉地があると言われており、それぞれの温泉地がしのぎを削る中、1000年近い歴史を誇り、湯量・泉質に恵まれた塩原温泉と板室温泉は、第30回「にっぽんの温泉100選」でそれぞれ30位と43位に選ばれた。

住んでいるからこそ見えにくい、温泉観光地としてのまちの魅力を探してみよう。



小太郎ヶ淵



ハンターマウンテン塩原 ゆりパーク



ヤマセミ
撮影:
HAJIME・YAMASEMI



元泉館

塩原温泉



6つの泉質に7色の温泉 名だたる文人が愛した

人を魅了してきた圧倒的渓谷美

大きな岩々の間を駆け抜ける限りなく透明な青緑色の清流。その上にかけてられた吊り橋から上を仰ぎ見ると、心なしか空が高く感じられる。渓流を生む滝の数は70に及び、一体の空気を澄

ましていくれているようだ。
この場所に温泉が発見さ

れたのは、今から1200年以上前の大同元年(806年)。それ以降、湯治場としての歴史を歩んでいたが、明治期に塩原新道の開削と塩原軌道(鉄道)の敷設により、交通の便が良くなった



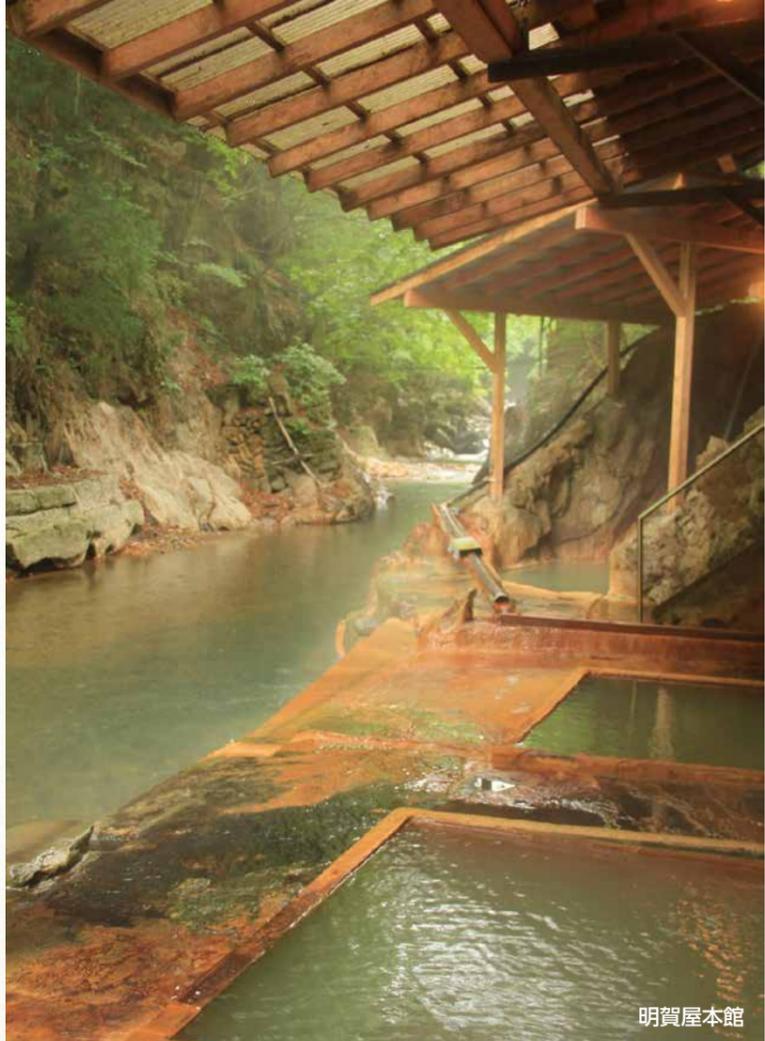
川瀬巴水(塩原猿岩)

ことから隆盛を見せ始め、次第にその名が全国に知られるようになった。それ以降、政府の要人や華族をはじめ、尾崎紅葉や国木田独歩などの文豪や、高橋由一などの画家が多く来訪。温泉と渓谷美を愛でてきた。

さらに、大正天皇の塩原御用邸が建てられたことで、一層人気に拍車がかかり、一大別荘地としての地位を確立。それらの歴史は、塩原の各所に立つ文学碑や「塩原温泉天皇の間記念公園」などからも伺い知ることができる。

多様な泉質と豊富な湯量

10種類ある泉質のうち炭酸水素塩泉や硫酸黄線、塩化物線など6種が揃っているのは全国でも有数。また、毎分1万リットルが湧き出し、源泉の数も150を誇る。そのため、至るところに共同浴場があり、その数は20以上。今でも地域の住民に利用されており、塩原では温泉がとても身近な存在だ。



明賀屋本館

板室温泉



温泉文化 生活文化

そして芸術文化を味わう



かつて板室温泉にあった共同浴場

いわずと知れた「下野の薬湯」

黒磯の市街地から那須連山の西端に車を走らせること30分。のどかな田園風景を抜け、清流、木の俣渓谷を越えると、急に視界がひらけてくる。那須の雄大な山々からの雪解け水が流れる那珂川に沿って、旅館が静かに立ちならぶ。

平安の康平2年(1059年)に、発見された板室温泉。会津中街道の開通から江戸時代の末期まで約1世紀半に渡り、街道の宿場町として栄えたその温泉地は、古くよりその効能の高さから「下野の薬湯」と呼ばれ、湯治の里として親しまれてきた。

独自の入浴法「綱の湯」

湯温は約40℃と少しぬるめ。泉質は無色透明アルカリ性単純温泉で、時間をかけて体の芯まで温めることができる。綱につかまり、立ったまま深めの浴槽につかる板室温泉独特の「綱の湯」。胸からつま先まで水圧がかかる



幸乃湯温泉



板室温泉街にある倉庫美術館には、現代美術作家・菅木志雄の作品約200点が常時展示されている

今なお続く文化の芽吹き

古くからの湯治場として、独自の文化を育んできた「板室温泉」。最近もその文化の歩みは足を止めない。その一つとして、最近注目を浴びているのが現代アート。鳥のさえずりと川のせせらぎに包まれ、芸術を堪能できる。

ので、末端の毛細血管まで血行が良くなり、入浴の効果がさらに高まるという。その効能は、杖について療養に訪れた湯治客が、帰るときには杖がいらないほどに回復したことから「杖いらずの湯」とも称されるほど。板室温泉神社には、要らなくなった杖が奉納されている。

6つの泉質と7色の温泉を武器に、満足いただけるおもてなしを

「スマートボールというピンボールに似たゲームや、手打ち式パチンコ、射的なんかもありましたね」。日本がバブル全盛の頃、繁栄を極めた塩原温泉を君島氏は振り返る。浴衣姿の観光客が温泉街を練り歩き、土産物屋や飲食店には人があふれていたそう。

当時は会社の忘年会や新年会を始めとした慰安旅行がほとんどだったため、バブル崩壊により企業の業績が悪化すると、お客

さんは減少。団体から個人への旅行形態の変化も影響が大きかったという。「当時100軒以上あった旅館は、今では50軒あまり」と少し肩を落とした。

「温泉好きのお客さんなら、泉質の良さを分かってくれるはず。我々は一人一人のお客さんに満足してもらえる“おもてなし”を続けていだけ」。そう語る彼からは、塩原の泉質に対する絶対の自信が伺えた。



君島将介氏
塩原温泉観光協会会長

室。「医者でも治らない病が、温泉で治る」と身体の不調を癒しに、1週間以上滞在する湯治客も多かった。しかし、大規模資本の旅館台頭などにより徐々に客足は遠のき、さらに福島原発事故により激減。

「それでも、我々には良質な温泉が豊富にある。各旅館の個性を活かしながら、団結して板室の癒しを提供していきたい」と力強い眼差しで、彼は未来を見つめていた。

歴史ある湯治場として、これからも癒しを提供していきたい



荻原正寿氏
黒磯観光協会会長

「どこの旅館も満室で、泊めてあげられない」。最盛期の平成2年には、こんな悩みを持つこともあったという。当時を振り返ると気持ちが昂るようで、荻原氏の言葉にも力が入る。「あの頃は凄かった。私の旅館にも1日1,000人ほどの日帰り入浴客が来て、目が回るような思いだった」。

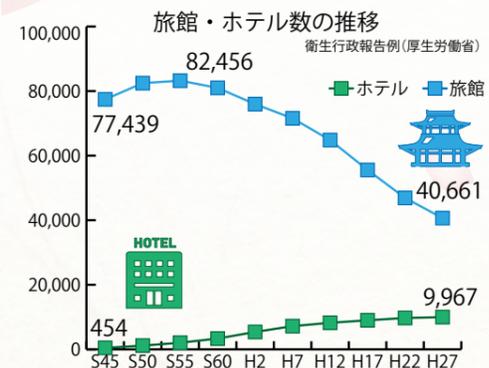
泉質に惚れ込んだお客さんが、新しいお客さんを連れてきてくれ、旅館はどれも満

再興に向けた挑戦

観光をとりまく環境の変化

会社や地域のみならず恒例の温泉旅行。そんな光景が見られたのも、今となっては昔のこと。80年代以降、団体旅行から個人旅行に主流が変化し、かつて繁栄を見せた観光地の活気は全国で失われつつある。

昭和62年に全国で8万2千軒あった旅館の数は、平成26年には4万3千軒にまで減少。平均すると全国で1日3軒ほどの旅館が、閉鎖を余儀なくされている。今日もどこかの旅館がひっそり



りと歴史に幕を閉じている。さらに、深刻化する少子高齢化、それに伴う人口減少。地方自治体間の競争も激化する一方だ。このまま手をこまねいては、大きな淘汰の波に飲み込まれてしまう。流れに立ち向かうべく、さまざまな策が講じられている。

激変するマーケットへの対応

生き残りには、変化に素早く対応できる柔軟な組織が必要。そのため、市内3観光協会と市が組織する市観光局が平成26年4月から始動した。

まず、重点的に取り組んできたことが、塩原・板室を中心とした知名度の向上。新聞の特集記事や、JR東日本の車内誌「トランヴェール」・JALの機内誌「スカイワード」への掲載、他にも文化放送の人気ラジオ番組「くまのジャパン」などさまざまなメディアでPRを続けている。また、東京駅や大宮駅の構内にも大々的にポスターを掲載。日常の生活の中で、目や耳に触れる機会を多く設け、旅の行き先として選択されるよう取り組んでいる。

リピーターの獲得に向けて

大切なのは「ここにしかない」や「ここでしか感じられない」という特別なものをお客さんにお届けすること。そして、「来てよかった、また来たい」と思ってもらえること。

そのためには、各観光施設がサービスの質を向上させ、地域のみならず観光素材を磨き上げる必要がある。

未来のために今できることを

温泉に向かう旅の道程をあでやかな白やピンクの花が染め上げる。10年後にそんな光景が見られる地域となることを目指して、ハナモモの植栽が進められている。塩原地区で中核を担うのは、地元の塩原温泉活性化推進協議会。山間部と平野部の高低差が、地区ごとの開花時期を少しずつずらしてくれるため、1カ月間満開のハナモモがどこかで見られるようになる計画だ。

平成26年に行われた第1期植栽ではもみじ谷大吊橋や八郎ヶ原放牧場などに、350本のハナモモを植えた。今年から地元の小中学校の児童生徒も加わって計800本のハナモモを植えて、10年後を見据えた準備が着々と進んでいる。また、板室地区でも木の俣園地に200本のハナモモを植栽。地域全体で誘客に向けて取り組んでいる。



3月16日にもみじ谷大吊橋で行われたハナモモの植栽。地域内外から100人以上が参加した



10年後にハナモモが開花する際にはこのような風景が見られる予定だ

国内最大級の観光キャンペーンが栃木に

「本物の出会い 栃木」プレデスティネーションキャンペーン Destination Campaign



JRグループ6社と自治体や地元観光事業者などが連携して取り組む国内最大級の観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン(DC)」。平成30年の4~6月に19年ぶりに栃木県で開かれる。

デスティネーション(Destination)は目的地・行き先を、キャンペーン(Campaign)は宣伝を意味する造語で、選ばれた地域の宣伝広告を期間中に集中してPRすることで、全国各地から観光誘客を図る。

キャンペーン期間のちょうど1年前にはプレDCを、1年後にはアフターDCを実施することが慣例となっており、今年の4月1日から6月30日にかけて「本物の出会い 栃木」春の観光キャンペーンが行われる。

期間中は、レトロな旧型客車や首都圏から直通の臨時列車が運行され、県産食材をふんだんに使用する期間限定の駅弁も登場。県内の各地でイベントが行われる予定だ。

3月13日に行われたプレDC総決起大会では、旅館経営者をはじめ観光関係者が一堂に会し、地域が一丸となって取り組む決意を固めた



大宮駅のエスカレーターに掲示された本市の観光ポスター



世の中の流行が刻一刻と変化する現代。情報の波にのまれ、衰退していく観光地も珍しくない。必要なのは流れを見極め、「本物」を提供すること。生き残りをかけた戦いが始まっている。

スマホと楽しむ 観光情報サイト ココシル



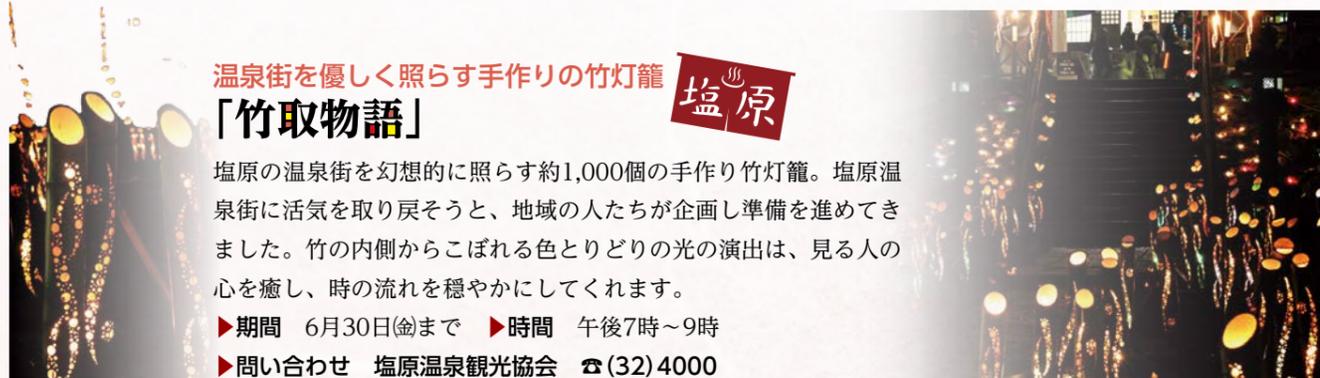
スマホで楽しむ観光情報サイト「ココシル那須塩原」。スマホやタブレットでアプリをダウンロードして、市内の観光名所や旅館・ホテル、飲食店などの情報が得られます。また、観光名所や施設などの地図表示やナビゲーション機能も充実。この機会に、あらためて市内の観光情報を取得してはいかがでしょうか。





温泉街からのおもてなしイベント

まちの魅力に磨きをかけたおもてなし。期間中にさまざまなイベントが催される。この地域に住んでいても、意外と知らない“まちの魅力”を探しに行ってみては—



温泉街を優しく照らす手作りの竹灯笼 「竹取物語」

塩原の温泉街を幻想的に照らす約1,000個の手作り竹灯笼。塩原温泉街に活気を取り戻そうと、地域の人たちが企画し準備を進めてきました。竹の内側からこぼれる色とりどりの光の演出は、見る人の心を癒し、時の流れを穏やかにしてくれます。

- ▶期間 6月30日(金)まで ▶時間 午後7時～9時
- ▶問い合わせ 塩原温泉観光協会 ☎(32)4000



温泉ふるまい 日帰り温泉入浴無料サービス

6種類7色という多種多様な温泉を誇る塩原温泉。毎月風呂(26)の日に対象旅館の温泉を無料でふるまいます。この機会に、あなたの身体に最も合う温泉を探してみたいはいかがでしょうか。

- ▶とき 4～6月の各26日 ※詳細は観光局ホームページを確認してください。
- ▶問い合わせ 塩原温泉観光協会 ☎(32)4000



塩原 まちめぐりツアー 散策しながら魅力を再発見

塩原温泉街の中心部をガイドの案内でのんびりと散策。普段は見過ごしてしまう何気ないものの中に刻まれた物語を探しにいきませんか。

- ▶期間 11月30日(木)まで ▶出発時間 午前9時～午後2時(所要2時間)
- ▶料金 大人500円、小中学生300円(予約制)
- ▶問い合わせ 塩原温泉観光協会 ☎(32)4000



板室 三大祈願 祈願所のご利益を温泉で

板室温泉の三大祈願所で祈願されたお札を、板室温泉の宿泊施設内の湯口にお供えし、各祈願所のご利益を得ようとするもの。期間中は、子宝祈願にご利益があるとされる木の俣地蔵のお札が備え付けられます。

- ▶期間 6月30日(金)まで

1月～3月まで湯口にお供えした全てのお札をお焚き上げします。その後、板室温泉・大黒屋にて餅つきを開催します。

- ▶とき 4月23日(日)午前11時～
- ▶ところ 板室温泉地内那珂川河川敷
- ▶問い合わせ 黒磯観光協会 ☎(62)7155



星空観察会 満天の星を探しに



山の稜線に太陽が沈むと訪れる板室温泉の静寂。茜色から濃紺へと移る空に、星々が輝き始めます。天文ガイドの解説を聞きながら、特別な時間を過ごしませんか。

- ▶開催期間 4～6月の毎週土曜 午後8時～9時
- ▶料金 無料
- ▶問い合わせ 板室自然遊学センター ☎(69)0231



若色潤氏 市観光局戦略会議 いちごとみるくフェア担当
まちの名物にできれば最高ですね。

昨日、家族や恋人同士の旅行では、女性が旅先を決める傾向があります。また、その土地の「美味しいもの」は、その際に考慮されることが多いアイテム。女性が飛びつく「おいしいもの」といえば、やはりスイーツではないでしょうか。
本市が誇る生乳生産本州一の「牛乳」と、栃木が誇る収穫量48年連続日本一の「いちご」を組み合わせれば、ここだけのオリジナルスイーツができます。さらに、旅館やホテルだけでなく、飲食店も加わることで、地域の回遊性が生まれます。いちごと牛乳の組み合わせは、洋菓子のイメージが強いですが、ぜんざいのような和テイストにしても美味しい。素材で地域の一体感を保ちながら、多様なスイーツの提供が可能です。何回でも楽しめたい。この取り組みを一過性のものにせず、時間を積み重ねて、将来的にまちの名物にできれば最高ですね。



—地元の食材を使って まちの新しい名物にできれば—



キャンペーンでの誘客の取り組み

“このまちの魅力は何だろうか”
あらためて探求し、辿り着いた「食」という答え。
数年前から進めてきた準備が、ついに形になる。



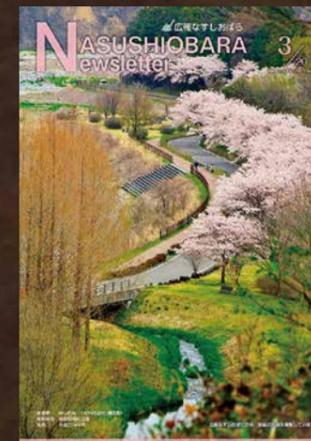
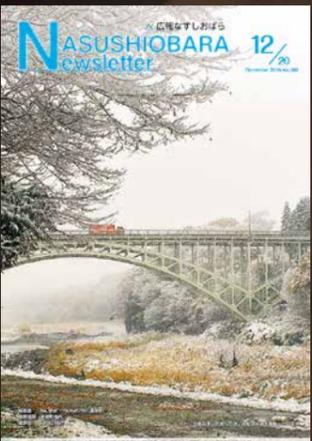
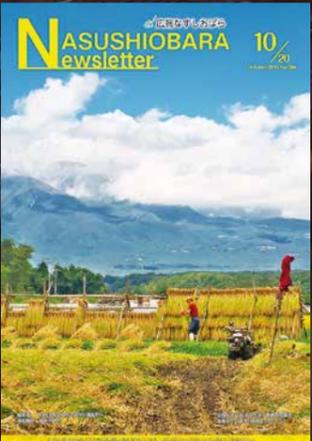
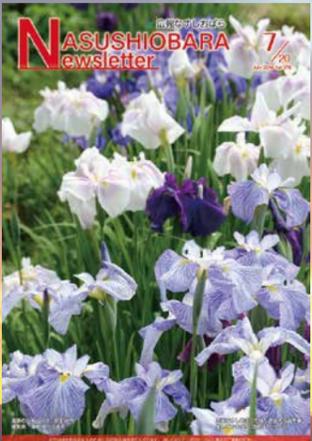
—印象に残る朝食で また来たいと思ってもらいたい—

旅館での一泊を音楽に例えると、お着きのおもてなしが最初の盛り上がり。その後、温泉と夕食で演奏はピークを迎え、最後の盛り上がり「朝食」で幕を閉じる。最後の音が響いたのちに、耳元にかすかに良い余韻を残すことができれば、きっとその演奏は成功だと言えるでしょう。旅館を出た後に余韻を残し「また来たい」と思ってもらうため、朝食で日本一を目指そうと取り組んでいます。
だからと言って、朝食を全てリニューアルするのは難しく、提供している朝食をあらためて見直すことが重要だと考えます。既にこだわりを持って出しているものは、それを伝えられるようにする。また、これまで既製品を出していた料理があれば、地元食材を使用して自家製に変えるだけでも十分に価値が高まります。今回のプロジェクトを契機に、地域全体で食のレベルアップを図り、取り組みを継続していくことが重要です。

ただただ 山口 忠孝氏 市観光局戦略会議 朝食イッピン物語 担当



あなたが撮った **まちの魅力** を募集しています
 広報なすしおばら毎月20日号の表紙を飾る写真を募集しています。
 まちの魅力をとらえた季節感がある“とっておきの1枚”をお待ちしています。



- ▶募集するもの 市内で撮影された自然・風景の縦写真
- ▶応募規定 直近2年以内に撮影された未発表未掲載のもの
- ▶写真規格 1作品3~10MBのデジタルデータ (JPEG形式)
- ▶応募方法
 - ・応募者の氏名(ペンネーム)、住所、電話番号、撮影場所、撮影日を明記してください(ペンネームでの掲載を希望する場合も、必ず本名を明記してください)
 - ・写真をCD-Rなどに保存し、郵送または直接持参により提出してください(応募作品は返却しません)
- ▶掲載するもの 氏名またはペンネーム、撮影場所
- ▶その他
 - ・応募作品は、第三者の著作権、肖像権、その他法令上的一切の権利を侵害していないものに限り
 - ・応募多数の場合などは、掲載されない場合もあります
 - ・必要に応じてトリミングする場合があります
 - ・応募した写真の使用権は市に帰属します。その他の市の発行物に使用する場合もあります
- ▶問い合わせ 函シティブロモーション課 ☎(62)7109

お・も・て・那・須 手形

お得な **1,080円**
 有効期限：購入から1年

**販売
施設**

販売施設名	所在地	電話番号
塩原温泉観光協会	塩原747(塩原ものがたり館内)	(32)4000
市観光振興センター	関谷448-4	(46)5326
黒磯観光協会	共聖社108-2(市役所本庁舎内)	(62)7155
道の駅 明治の森黒磯	青木27	(63)0399
西那須野観光協会	あたご町2-3(市役所西那須野庁舎内)	(37)5107

※一部の参画施設や近隣の観光協会でも購入できます。

冊子を提示すると22施設の中から7つの温泉施設を無料で楽しめます。レジャーや食事などのクーポンも盛りだくさん。
 手形を片手に市内の温泉を巡ってみてはいかがでしょうか。

市内の16施設を含む全22施設の中から7施設まで利用できます。お一人様1施設1回のみです。



施設名	入浴可能時間	所在地	電話番号
にごり湯の宿 湯荘 白樺	午前10時~午後8時	湯本塩原14	(32)2565
秘湯にごり湯の宿 深雲閣	正午~午後3時	湯本塩原37	(32)2361
ホテルニュー塩原	午前11時~午後8時	塩原705	(32)2611
秘湯の宿 元泉館	午前10時~午後2時	湯本塩原101	(32)3155
かんぱの宿 塩原	午前10時30分~午後8時	塩原1256	(32)2845
伊東園ホテル塩原	午後1時~6時、午後3時~6時(月・休)	塩原2196-4	(32)2811
塩原温泉 華の湯	午前10時~午後9時(入館は午後8時30分まで)	上塩原603	(31)1058
箱の森プレイパーク遊湯センター	午前10時~午後8時(入館は午後7時30分まで)	中塩原	(32)3071
源泉ほたるの湯	午前11時~午後4時(入館は午後3時まで)	板室46	(69)0345
ホテル板室	正午~午後5時	百村3072-26	(69)0771
奥那須・大正村 幸乃湯温泉	午前10時~午後4時(特典利用は午後2時まで)	百村3536-1	(69)1126
OnsenRyokan 山喜	正午~午後2時30分(要事前予約)	板室844	(69)0214
板室温泉 勝風館	正午~午後8時	板室1136	(69)0224
那珂川温泉 皆幸乃湯	午前9時~午後10時(入館は午後9時まで)	鍋掛1088-24	(63)1180
加登屋旅館	午後1時~午後5時	板室859	(69)0201
板室健康のゆグリーングリーン	午前10時~午後7時	百村3090-6	(69)0232

※市外無料入浴施設や利用上の注意事項など、詳しくは左のQRコードから確認してください。



ぼたんまつり
 赤やピンク、紫など色とりどりのぼたんが3000株以上。艶やかな大輪の花が次々と咲き誇る様子は、期間中に何度訪れても飽きることはありません。
 ▶とき 5月8日(月)~31日(水)
 ▶ところ 妙雲寺
 ▶料金 400円
 ▶問い合わせ 塩原温泉観光協会 ☎(32)4000



鯉のぼりの遊泳
 板室温泉春の風物詩。約100匹の鯉のぼりが青空を悠々と泳ぐ姿が楽しめます。※家庭で使用しなくなった鯉のぼりの寄付を受け付けています。
 ▶とき 4月17日(月)~5月15日(月)
 ▶ところ 板室健康のゆグリーングリーン前
 ▶問い合わせ 函商工観光課 ☎(62)7156



カヤックツアー
 安定性の高いレクリエーションカヤックなので、初めての人も安心。水面近くから見る塩原の新緑は、このツアーでしか味わえません。
 ▶とき 4月中旬~6月中旬
 午前9時~正午、午後1時~3時
 ▶ところ もみじ谷大吊橋
 ▶料金 大人7,000円、子ども5,000円
 ▶問い合わせ (株)ZACK ☎(48)7539



板室ダム湖 カヌー体験ツアー
 流れのないダム湖でのカヌーなので、初心者でも安心して参加できます。
 ▶とき 4月15日(土)~
 午前9時~正午、午後1時~3時
 ▶料金 大人5,000円、子ども4,000円
 ▶問い合わせ 板室ダム湖カヌー体験ツアー現地案内 ☎(69)1168

01

3つの消防団を統合しました
那須塩原市消防団が誕生



消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」という精神のもと、地域住民の安全・安心を守るために活躍する消防組織法に基づいた組織です。普段、団員は会社員や農業などのおの仕事をしていますが、火災や災害が発生したときは消防隊員と協力し、消火活動や警戒活動などにあたります。

今までそれぞれ活動していた黒磯・西那須野・塩原の各消防団。大規模災害時にも迅速に対応できるよう、指揮命令系統を統一するため、4月1日に3つの消防団を統合し、那須塩原市消防団が発足しました。

統合により、さらなる地域の安全・安心と防災力を向上させていきます。

▼問い合わせ 総務課 ☎(62)7150



地域の安心・安全のために、いっしょに活動しましょう。

今までの組織形態



統合後の組織形態



統合により指揮命令系統が統一され、大規模災害に迅速に対応できるようになりました。

消防団員募集

市では、随時消防団員を募集しています。市内に在住または在勤している18歳以上で健康な人なら誰でも入団できます。消防団員の年齢層は幅広く、さまざまな業種の方がいます。消防団では、あなたの力を必要としています！

◆新しい料金表(平成29年4月1日から)

区分	使用料区分			
	使用者または死亡者が、本市または那須町に住所がある人		左記以外の人	
	火葬炉	待合室	火葬炉	待合室
12歳以上	5,000円	1室につき 5,000円	15,000円	1室につき 10,000円
12歳未満	3,000円		10,000円	
死産児	2,000円		5,000円	
身体の一部	2,000円		5,000円	



那須聖苑

※今までは、黒磯地区と西那須野・塩原地区の住民間で使用料が異なっていたため、負担を同額にする目的で、差額分を助成していました。今回の変更で使用料が統一されたことにより、那須聖苑の使用料差額助成制度は廃止になりました。

(大田原市火葬場の使用料差額助成制度は従来どおり継続しています。)

【那須聖苑の利用申込先】

☎市民課 ☎(62)7133 ☎市民福祉課 ☎(37)5102
☎総務福祉課 ☎(32)2988 幕根出張所 ☎(35)2511

※那須聖苑では直接受け付けていません。

04

4月1日から
那須聖苑の使用料が統一されました

4月1日から那須聖苑(黒磯那須共同火葬場)の使用料と区分が一部変わり、料金が統一されました。

詳しくは、左の表をご覧ください。

▼問い合わせ
環境管理課

☎(62)7142

02

4月23日(日)は
市議会議員選挙の投票日です



▼投票時間 午前7時～午後8時

※投票所入場券を16日以降に送付するので、届いていれば持参してください。

《都合が悪い場合は期日前投票を》

▼とき 4月17日(月)～22日(土)

午前8時30分～午後8時

▼ところ 本庁舎、西那須野庁舎、塩原庁舎、ハロープラザ

※どの会場でも期日前投票できます。

▼問い合わせ
選挙管理委員会事務局 ☎(62)7183

03

社会福祉施設を避難所に
民間福祉避難所に関する協定を締結



2月2日、本市と社会福祉法人・太陽の里福祉会が、災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定を締結しました。

これは、災害時の避難所生活で、特別の配慮を要する人の避難先として、市内の社会福祉施設を民間福祉避難所として指定するものです。昨年、6法人18施設が民間指定避難所に指定されていて、今回、1法人1施設が追加になりました。

▼問い合わせ
社会福祉課 ☎(62)7135

05

市内の遺跡を調査しました
結果をホームページで公開中



市内を調査する調査員の方々

市教育委員会では、平成26年度から3年間にわたり、市内全域を対象とした遺跡の分布調査を実施しました。4月から、この調査結果を市ホームページで公開しています。市内に残る貴重な文化財の保護と、開発事業との円滑な調整に協力をお願いします。

那須塩原 那びじる!

検索

※「埋蔵文化財マップ」から探すと簡単です。

▼問い合わせ
生涯学習課

☎(37)5419

06

熊本地震被害の支援に感謝
パン・アキモトにくまモン来訪



昨年4月に発生した熊本地震。甚大な被害を受けた被災地に対し、パンの製造販売を行う株式会社パン・アキモトでは2万食以上のパンの缶詰を寄付。このお礼のため、2月27日に熊本からくまモンが同社を訪れました。

くまモンは「おいしいパンのおかげでみんな元気になったよ。どうもありがとう」と感謝の気持ちを全身で伝えました。

▼問い合わせ

コンテイプロモーション課

☎(62)7109

07

那珂川河畔公園のこども広場が
リニューアルオープン



1月から実施していた那珂川河畔公園こども広場の遊具の老朽化に伴う更新工事が3月31日に完了し、4月1日から利用を開始しました。

《ここが変わりました》

○対象年齢別にエリアを分割
遊具の対象年齢ごとに児童用と幼児用のエリアに分け、安全に配慮した配置に変更。安全のため、遊具に貼られている年齢表示シールに従い、年齢区分を守って楽しく遊んでください。

○色は自然をイメージ
遊具のテーマカラーは、那珂川のきらめく水面の水色や、公園の豊かな緑の緑色をイメージしました。一目で児童用、幼児用遊具の区別ができます。

▼問い合わせ

○那珂都市整備課 ☎(62)7160



08

骨髄ドナー登録者をサポート
骨髄ドナー支援事業



思いやりで
救われる命があります

骨髄バンクは、白血病などの血液疾患の治療のため、血縁関係のない人の骨髄液や抹消血管細胞を患者にあっせんする制度です。骨髄移植の際、提供された白血球抗原型が患者のものと同じとないと移植ができないため、ドナーの登録数の増加が望まれています。

市では、骨髄バンク事業ドナー登録者を増やすため、4月1日から骨髄などの提供者やその人が勤務する事業所に対して奨励金を交付します。

▼申込方法

①ドナー

申請書に骨髄などの提供が完了したことを証する書類を添付して申請

②事業所

申請書にドナーとの雇用関係が確認できる書類を添付して申請
※骨髄などの提供を完了した日から1年以内に申請してください。

▼申し込み・問い合わせ

○健康増進課(黒磯保健センター内)

☎(63)1100

【奨励金の交付概要】

- ▶対象 公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業に登録を行い、4月1日以降に骨髄などの提供を完了した市民と、その人が勤務している事業所
※骨髄などの提供時に市民であること。
- ▶奨励金の額
ドナーは1日2万円(上限7日)、事業所は1日1万円(上限7日)
※骨髄などの提供のための通院・入院
①健康診断のための通院 ②自己血貯血のための通院
③骨髄などの採取のための入院
④その他提供に関し、財団が必要と認める通院・入院

09

住まいの耐震 足りてますか
耐震建替え費補助制度が始まります

4月から新たに、耐震診断の結果「耐震改修が必要」と診断された木造住宅を解体し、新たに同一敷地内に住宅を建築する場合に、解体・建替え費用の一部を助成します。

▼補助額 既存住宅の解体・耐震建替えにかかる費用の1/2の額(上限80万円)

▼対象となる建物
・耐震診断の結果、建替え前の住宅の総合評点が1.0未満であること
・昭和56年5月31日以前に着工された住宅
・貸家でないこと

・耐震改修が必要であると診断された住宅を解体し、建替え前と同一敷地内に住宅を新築すること
・耐震診断の結果が出る前に確認申請を行っていないもの
※このほかにも満たさなければならぬ条件があるので、問い合わせください。

▼補助対象者 対象住宅の所有者または当該所有者の二親等以内の親族で、この補助金を受けたことがない人

▼問い合わせ

○那珂建築指導課 ☎(62)7169

《その他の耐震補助制度も受付中》

- ・耐震診断費等補助
- ・耐震改修費補助



10

希少野生動植物種の現状を知る
レッドデータブックを発行



市内でも、人間活動の影響などにより、姿を消しつつある野生動植物が増えていきます。このたび、市内の希少野生動植物種の生息や、その生息・生育を脅かす要因をまとめた「那須塩原市レッドデータブック2017」を作成しました。486種をカラー写真付きで解説しています。自然保護活動や市内の野生動物を調べる際に活用してください。

※公民館や図書館で閲覧できるほか、本環境管理課窓口で販売します。(税込2千円)
▼問い合わせ 本環境管理課 ☎(62)7193

11

鳥野目河川公園
花見でウォーキング



新緑と花々に囲まれた公園内約3kmのコースを、花見気分を楽しめるウォーキング教室に参加しませんか。

▼とき 4月22日(土)午前9時30分～11時30分

▼対象 市民、市内勤務者

▼定員 30人(定員になり次第締め切り)

▼参加費 無料

▼申込期限 4月21日(金)

▼その他 運動のできる服装で飲み物を持参

▼申し込み・問い合わせ

○鳥野目河川公園管理事務所 ☎(64)4334

キーワードは
「市民優先」

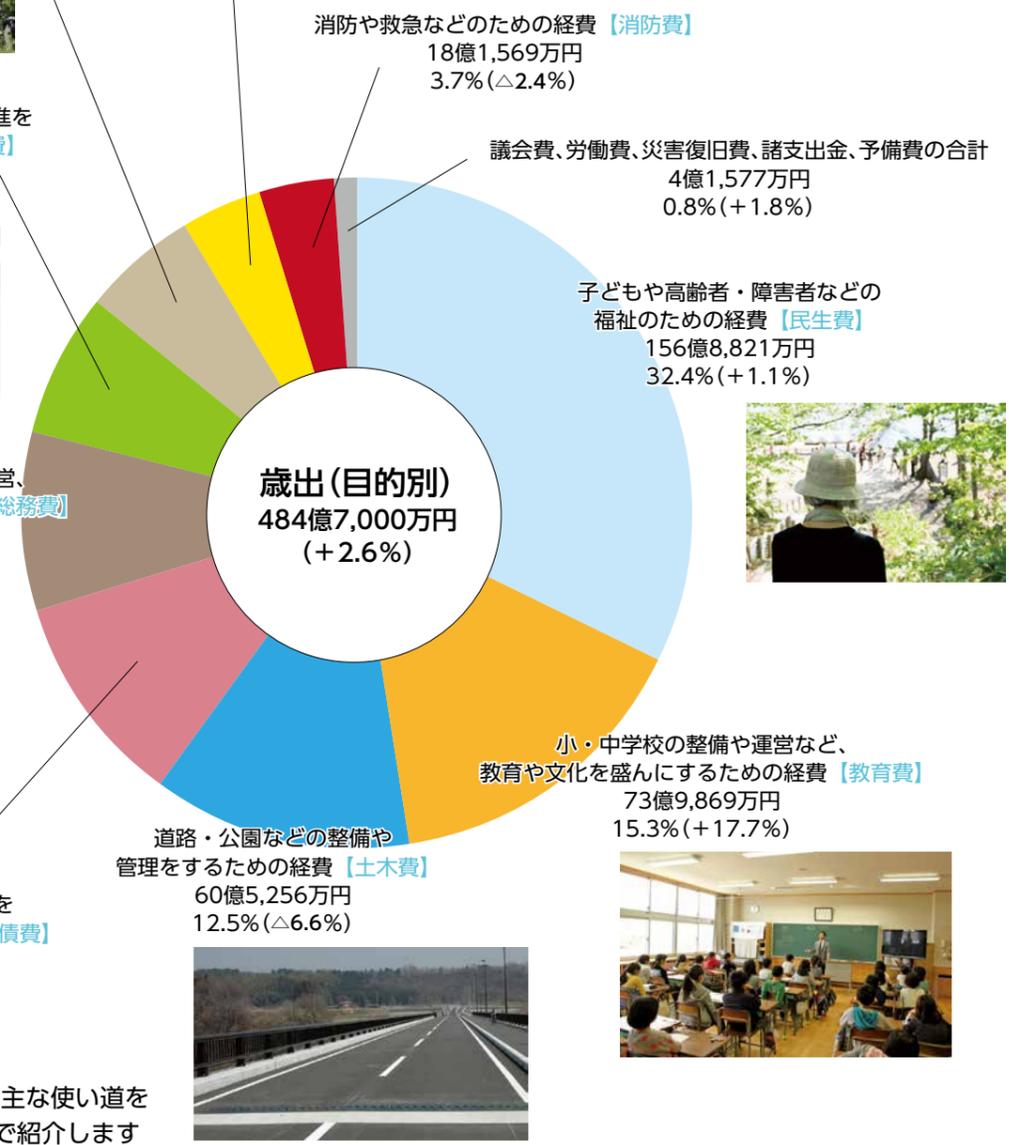
平成29年度は、まちづくりの道しるべとなる「第2次那須塩原市総合計画」のスタートの年。将来の発展に向けて、新たな一歩を踏み出す重要な年になります。「人が基本」という視点で「那須塩原市に住み生活する市民を一番に考えること」を基本姿勢とし、将来像の実現に向けた施策を推進していきます。

今年度の予算編成のキーワードは昨年同様、「市民優先」。総合計画に位置付けられた事業を中心に、市民の皆さんの生活をしっかりと支え、安心して生活できるまちづくりに取り組んでいくための予算としました。

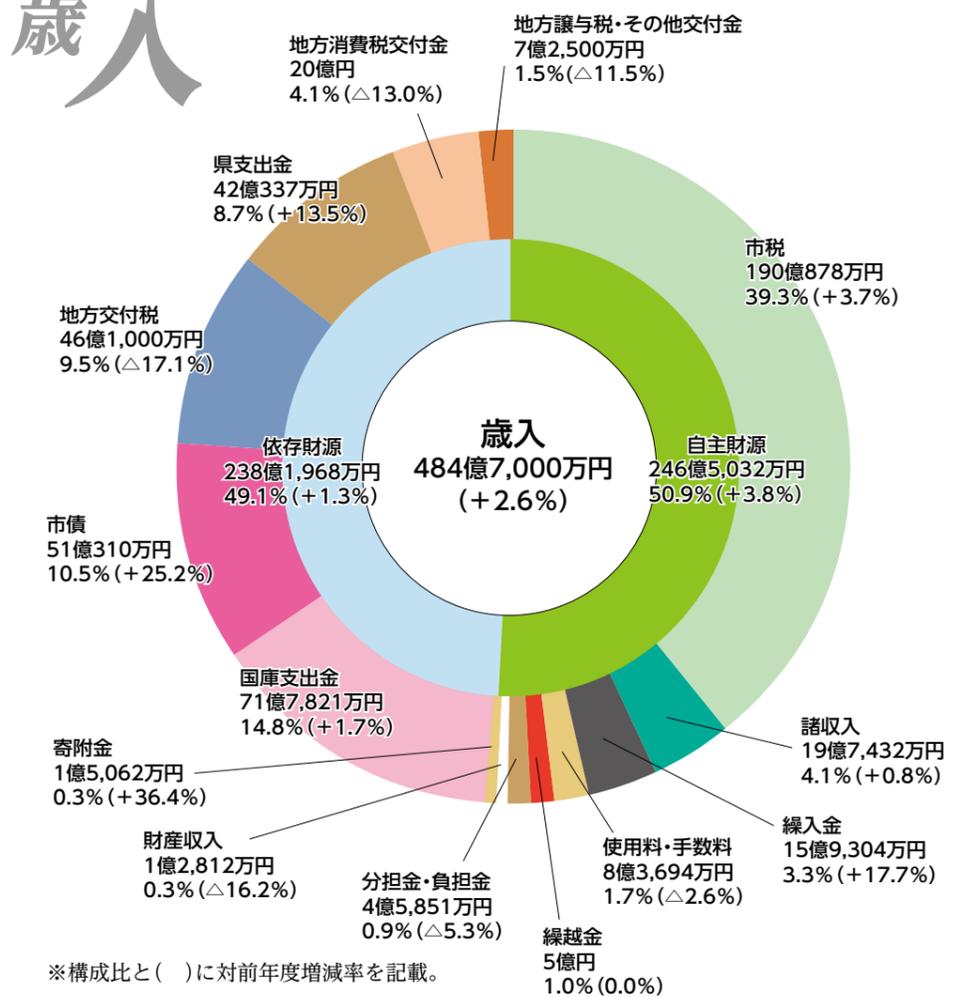
▼問い合わせ 財政課 ☎0287(62)7118

一般会計 対前年度比 +12億1,000万円(2.6%増)
484億7,000万円 市民1人当たり*にすると約41万835円
 一般会計・特別会計・企業会計を合わせた予算総額は
816億4,899万円 対前年度比 +19億6,093万円(2.5%増)
 ※平成29年3月1日現在の人口で計算。

歳出



歳入



- 用語解説
- 自主財源…市税など市が自ら集めるお金
 - 依存財源…国、県などから交付されるお金
 - 市税…市民税や固定資産税、たばこ税など皆さんが納めるお金
 - 国庫支出金…福祉援助や道路整備などのために国から交付されるお金
 - 地方交付税…所得税、法人税、酒税など国税として徴収された中から市の財政状況に応じて交付されるお金
 - 市債…道路や施設を整備するために、国や銀行から借り入れるお金
 - 県支出金…福祉援助や道路整備などのために県から交付されるお金
 - 地方消費税交付金…消費税(国税)と一緒に徴収された地方消費税(県税)のうち、市町村に交付されるお金
 - 諸収入…学校給食費など他科目に含まれないお金

農林業や畜産業を盛んにするための経費【農林水産業費】
26億7,582万円
5.5% (+42.1%)

商工業や観光を盛んにするための経費【商工費】
18億9,720万円
3.9% (+0.2%)

消防や救急などのための経費【消防費】
18億1,569万円
3.7% (△2.4%)

ごみ処理や市民の健康増進を図るための経費【衛生費】
33億53万円
6.8% (△9.5%)

議会費、労働費、災害復旧費、諸支出金、予備費の合計
4億1,577万円
0.8% (+1.8%)

子どもや高齢者・障害者などの福祉のための経費【民生費】
156億8,821万円
32.4% (+1.1%)

税務事務や市役所運営、防災などのための経費【総務費】
42億9,340万円
8.9% (△1.0%)

歳出(目的別)
484億7,000万円
(+2.6%)

小・中学校の整備や運営など、教育や文化を盛んにするための経費【教育費】
73億9,869万円
15.3% (+17.7%)

市が借りているお金を返済するための経費【公債費】
49億3,213万円
10.2% (△0.4%)

道路・公園などの整備や管理をするための経費【土木費】
60億5,256万円
12.5% (△6.6%)

一般会計予算の主な使い道を18~19ページで紹介し

●企業会計予算

会計名		予算額	対前年度増減率
水道事業	収益的収支	収入	29億 34万円 1.9%
		支出	26億6,928万円 2.5%
	資本的収支	収入	5億 178万円 △20.3%
		支出	18億1,385万円 3.1%

- 収益的収支…1年度の事業活動に関する水道料金を主体とした収入と、材料費や電気料・職員の給与などの支出
- 資本的収支…将来の維持管理に必要な借入金などの収入と、水道管敷設などの建設改良費や借入金を返済するための支出

●一般会計・特別会計予算

会計名	予算額	対前年度増減率
一般会計	484億7,000万円	2.6%
特別会計	国民健康保険	163億8,647万円 2.3%
	後期高齢者医療	9億6,966万円 △1.0%
	介護保険	80億9,892万円 3.8%
	下水道事業	30億7,968万円 △0.1%
	農業集落排水事業	1億 621万円 △10.8%
	温泉事業	5,150万円 △12.5%
	墓地事業	342万円 1.5%
	小計	286億9,586万円 2.3%
	合計	771億6,586万円 2.4%

平成29年度に
取り組む
主な事業を紹介

誰もが安心して元気に暮らせる
まちづくりを進める

引き続き取り組みを進める事業
※内容を拡充するなど新たな取り組みが含まれている場合もあります。
平成29年度から新たに取り組む事業
市長が市民の皆さんと実現を約束した事業



黒磯駅前の整備が順次スタートしています



那須塩原
クリーンセンター

【土木費】

- 黒磯駅周辺地区都市再生整備計画事業…………… 13億3,513万円
(仮称)駅前図書館建築、西口広場整備工事、東西連絡通路西口階段改修など
- 那須塩原駅周辺地区都市再生整備計画事業…………… 1,320万円
駅前広場整備基本計画の策定
- 防災・安全交付金による道路整備…………… 5億7,082万円
(新規)路側帯薄層カラー舗装工(東那須野金田線ほか3路線)
(継続)道路改良(埼玉烏野日線ほか)、舗装改築(二区町・緑線ほか)
- 地方創生道整備推進交付金による道路整備…………… 9億6,752万円
(新規)舗装修繕(板室油井線、宇都野野崎北線)
(継続)道路改良(新南・下中野線ほか3路線)、黒磯唐杉線舗装改築
- 公園の整備…………… 5,634万円
烏ヶ森公園支障物移転・用地取得(国道4号整備関連)、那珂川河畔公園大池土木工事など
- 道の駅の整備…………… 610万円
道の駅「明治の森・黒磯」駐車場増設、アクセス園路等の再整備設計
- 空き家等管理システム、空き家応急代行経費など…………… 1,191万円

【農林水産業費】

- 農業経営基盤強化促進事業…………… 10億8,346万円
(新規)植物工場整備の補助、ライスセンターの整備を補助
- はじめてのふるさとごはん(子育て応援米)…………… 1,091万円
1歳6カ月健診時に那須塩原産米20kgの引換券を支給
- そすいの郷新店舗整備への補助…………… 1億3,578万円
- 林道整備…………… 1億1,716万円
(新規)林道橋りょう長寿命化計画策定、(継続)林道花取線開設事業など
- 新食肉センター整備支援事業…………… 1,117万円
- 園芸作物振興事業…………… 788万円
(新規)市単独パイプハウス導入支援、(継続)夏秋どりいちご生産拡大など



昨年度に引き続き、今年度も子育て応援米を配布します

【衛生費】

- 放射能対策…………… 1億6,784万円
住宅・事業所の除染、放射線量マップの作成、食品検査など
- 予防接種…………… 3億3,922万円
- がん検診…………… 1億9,036万円
がん検診、集団検診、肝炎ウイルス検診などの実施
- 妊産婦・乳幼児保健…………… 1億2,756万円
新生児・産婦訪問指導、妊婦一般健康診査、乳幼児健診など
- こども医療費の助成…………… 3億3,204万円
- 太陽光発電システム・蓄電池設置費補助…………… 2,900万円
- 地球温暖化対策推進…………… 170万円
(新規)なすしおばらエコポイント制度、(継続)地球温暖化防止講演会など
- 那須塩原グリーンセンター管理運営…………… 6億6,077万円
- 第2期最終処分場整備事業…………… 9,403万円
基本計画、基本設計、実施設計、環境影響調査、地質調査

【消防費】

- 那須地区消防組合への負担金…………… 14億8,067万円
- 消防団活動への補助…………… 1億7,622万円
- 消防コミュニティセンターの整備…………… 5,250万円
消防団詰所や車庫の整備、用地の造成など
- 黒磯消防署の整備…………… 490万円
黒磯消防署移転先用地の測量



平成27年10月に統合した那須地区消防本部の庁舎(大田原市中田原)

【総務費】

- 防災対策…………… 2,108万円
防災士の養成、自主防災組織の支援、地域防災計画の改定など
- 地域バス運行…………… 2億857万円
ゆーバス・予約ワゴンバス運行事業者への補助など
- 地域おこし協力隊事業…………… 1,971万円
第3期生募集(2名)、第1期生起業支援(2名)
- 地方創生地域間連携事業…………… 3,000万円
新幹線駅を軸とした地域間連携プロモーション(小山市との連携)
- 公共交通政策…………… 852万円
地域公共交通網形成計画、地域公共交通再編実施計画策定
- 移住・定住促進事業…………… 2,745万円
移住定住コーディネーター配置、新幹線定期券・3世代同居用住宅取得費の補助など
- 運転免許証自主返納支援…………… 416万円
運転免許自主返納者に対し、ゆーバス・予約ワゴンバス・路線バス・タクシーの利用料金を助成
- 結婚対策事業…………… 313万円
結婚サポートセンターの設置、婚活イベント・婚活セミナーの開催など



運転免許証自主返納者への助成もスタート。この機会にゆーバスを利用してはいかがでしょうか

平成22年に開催し、盛況だった恐竜展。今回も何が登場するか楽しみに



ICTを活用した授業も進められています

【教育費】

- 小・中学校 ICT 事業…………… 2億2,365万円
パソコン教室用のパソコン・タブレット端末の整備、電子黒板リースなど
- 小学校のエアコン整備(工事設計)…………… 593万円
- ALT(外国語指導助手)や英語教育推進員の配置…………… 1億5,814万円
- 共英学校給食共同調理場の改築…………… 18億1,036万円
- 黒磯文化会館の整備…………… 6,570万円
(新規)耐震補強工事設計、大ホール照明操作卓更新工事
- くろいそ運動場本球場の改修…………… 4億7,260万円
本球場の改修、井戸の設置、防球ネットの設置など
- 大恐竜展の開催…………… 1,093万円
- 東京五輪関係事前キャンプ地誘致活動費…………… 940万円

【商工費】

- プレミアム商品券の販売(プレミアム率10%)…………… 5,300万円
- 市観光局支援事業…………… 1億3,908万円
観光PR、DC対策、地域集客事業、法人運営費など
- 商工イベント支援事業…………… 3,969万円
- 中小企業者の事業資金融資保証料の補助(貸付時)…………… 3,000万円
- 消費者啓発…………… 350万円
特殊詐欺撃退機器貸与、中学生対象講座開催など



観光地としての認知を高めるために、観光局を核として、観光PRを進めていきます(写真はJR大宮駅に掲示している観光ポスター)



子どもから高齢者、障害者など、家族全員が安心して暮らしていけるよう支えます

【民生費】

- 民間保育施設の運営・整備を支援…………… 24億734万円
私立保育園、認定こども園、地域型保育施設の運営を支援
私立保育園の施設整備を支援
- 放課後児童クラブの整備…………… 1億5,268万円
大山小第3児童クラブ、槻沢小児童クラブ
- 地域医療介護総合確保事業…………… 2億5,580万円
地域密着型サービス等施設整備助成、施設開設準備経費助成
- 高齢者外出支援タクシー料金助成…………… 4,800万円
- 子育て応援券事業…………… 5,053万円
0歳児:24,000円、1・2歳児:12,000円、※チャイルドシート対応
- 障害者相談支援センター設置…………… 1,310万円

広げよう! 地球にやさしいECOの輪

LED照明への買い替え

緑のカーテンの設置

自然観察会への参加

ごみ分別アプリのダウンロード



～なすしおばらエコポイント制度がスタート～
市では、より多くの皆さんに環境にやさしい行動に取り組んでいただけたよう、「なすしおばらエコポイント制度」を創設しました。地球にやさしい行動を積み重ねると、オリジナルのクオカードがもらえます。気軽に楽しく参加してみませんか。

鉄道・路線バスの定期券購入

環境家計簿の記入

環境企画展への参加

エコバックの使用

エコカーの購入

STEP 1



エコな行動をしよう

対象となるエコアクションを確認して、実践しましょう。

※対象のエコアクションを記載したカードを全戸配布します。

まずは
チャレンジ

STEP 2



スタンプをもらおう

アクションに応じ、環境管理課、市民福祉課、総務福祉課、帯根出張所窓口でスタンプを押印。
※観察会の参加などは会場で押印。

10ポイント
単位

STEP 3



クオカードをゲット

100ポイントたまったら、左記のいずれかの窓口で那須塩原オリジナルクオカードと引き換えられます。
※一人でも何度でも挑戦できます。

100
ポイントで...



環境管理課
027193

- 対象となるエコアクションでポイントがもらえます。100ポイント集めると、5000円分のオリジナルクオカードをプレゼント。子どもから大人まで誰でも参加できます。
- 対象活動 LED照明への買い替え、鉄道やバスの定期券購入、エコバックの使用など※計20項目。詳しくはエコアクションカードか市ホームページを参照。
- 対象 市民
- 参加費 無料
- 申請期間 5月1日(月)～来年3月30日(金)
- ※クオカードは先着千枚。
- 問い合わせ 環境管理課

市の予算を家計簿に例えると?

市の一般会計予算を、月給30万円のサラリーマン世帯に例えてみました。

収入		支出	
給料 ・市税	360万円 (190億878万円)	食費 ・職員や市議会議員の件費	130万円 (68億7,364万円)
パート収入 ・使用料、手数料などの諸収入	67万円 (35億4,850万円)	医療・介護費 ・医療や福祉のための経費	191万円 (100億6,580万円)
親などからの援助金 ・国税の地方への配分金や 国・県からの補助金など	354万円 (187億1,658万円)	光熱費・日用品の購入 ・光熱水費、消耗品費、委託料など	131万円 (68億8,965万円)
銀行からの借入金 ・国や銀行から借り入れるお金(市債)	97万円 (51億310万円)	兄弟などへの援助 ・各種団体などへの負担金や補助金	88万円 (46億4,557万円)
貯金の取り崩し ・基金から取り崩すお金	30万円 (15億9,304万円)	子どもへの仕送り ・特別会計に支出する経費	87万円 (45億7,915万円)
繰越金 ・繰越金	10万円 (5億円)	ローンの返済 ・借りているお金の返済	93万円 (49億3,213万円)
収入合計	918万円 (484億7,000万円)	家の改修、電化製品・車などの購入 ・道路や公共施設の建設・補修	174万円 (92億1,209万円)
ローン残高 ・市債残高	676万円 (357億937万円)	貯金 ・基金に積み立てるお金	2万円 (1億1,134万円)
預貯金 ・基金残高	259万円 (136億8,462万円)	その他 ・貸付金、投資・出資金、予備費	22万円 (11億6,062万円)
	※平成29年度末の見込み額。	支出合計	918万円 (484億7,000万円)

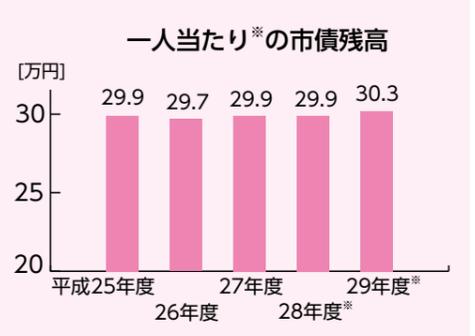
Q. どうして借り入れ(市債を発行)をするの?

市では、道路や学校などの公共施設の建設資金などについて借り入れ(市債の発行)を行います。公共施設は、将来の市民も使用することから、借入金を長期にわたって返済することで将来世代も建設費を負担することになり、税負担の公平性を確保することができます。



Q. ローン残高(市債残高)はどれくらい?

29年度末で市民一人当たり30.3万円。今後、人口が減少していくことが予想されており、今までどおりの借り入れを続けると、一人当たりの残高は増えることになります。また、今年度はローンの返済額(公債費)より借入金(市債)が多いため、ローン残高(市債残高)はやや増加する見込みです。次世代に過度な負担を残さないために、今後想定される公共施設の老朽化による更新の際に、施設の集約化や複合化などを公共施設等総合管理計画に基づき進めていきます。



*各年度の年度末時点の人口で計算。ただし、平成28・29年度は29年3月1日現在の人口で計算。



気合を入れて、面一本!
～那須地区小学生剣道錬成大会～

3月5日、第39回那須地区小学生剣道錬成大会が三島体育センターで開催されました。

この大会には本市のほか、大田原市、那須町から132人の子どもたちが参加。会場内には凛とした空気が張り詰め、学年ごとに分けられたそれぞれの試合所では「メン!」と鋭く打ち込んだり、お互いに激しく打ち合ったりする場面も。参加した子どもたちは、日頃の鍛錬の成果を存分に出し合っていました。



議場に響くハーモニー
～第8回議場コンサート～

3月市議会定例会開催期間の2月27日、この日の審議が始まる前に議場でコンサートが開かれました。今回は、全国規模のコンクールで受賞歴を持つ三島中学校合唱部が招かれ、その美しい歌声で観客を魅了。歌い終わった後、合唱部部長の2年生・長濱明歩さんは、「コンクールと同様に緊張はしたけれど、一緒に口ずさんでくれているお客さんもいて、とても楽しく歌うことができました」と笑顔で答えてくれました。 ※学年は取材時(平成29年2月)のもの。



新たな学校の形の さきがけへ
～塩原小中学校 義務教育学校～

今般、学校教育法の一部が改正され、現行の小・中学校に加え、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」が新たな学校の種類として規定されました。

本市では、これまでも施設一体型小中一貫教育を行ってきた塩原小中学校を、市内初の義務教育学校として4月1日に開校しました。今後、特色を生かした教育活動に取り組み、更なる学力の向上などを図っていきます。



会社の技術ってすごいですね
～市内事業所 小学校出張授業～

東レバッテリーセパレーターフィルム(株)(井口)の社員が2月28日に西小学校(写真)、3月3日に大原間小学校を訪問。6年生に対して「水処理膜と地球環境問題とのかかわり」をテーマに出張授業を行いました。水質汚染や水不足など、世界の水を巡る問題の話聞きながら、家庭用浄水器にも用いられる膜を使い、「水のろ過」に挑戦。色水は透明になる一方、食塩水から塩分はなくなり、膜の目の大きさを変えれば解決することを学びました。

**ダート
未舗装道で1,000分の1秒を競う**
～ダートトライアル選手権 in NASU～

3月18・19日にかけて、高林の丸和オートランド那須で、日本自動車連盟・JAFが主催する「全日本ダートトライアル選手権」の第1戦が開催されました。この競技は、未舗装のコースを走り切る時間を競うもので、土煙を巻き上げる豪快なドリフト走行が見どころの一つ。本大会の歴史は長く、当会場で開催は30回以上を数えます。排気量や駆動方式、改造の度合いで区分された9クラスに全国から146台が出場。トップレベルの運転技術を持つドライバーが1,000分の1秒を競いました。



↑未舗装でもトップスピードは100kmを軽く超える →スタート地点に向かうモンスターマシン
♥スタートを待つドライバー。緊張感が漂う ↓ドリフト走行でカーブを曲がっていく



←レースを見守る多くの観客。北は北海道から南は九州まで、他県ナンバーの車が目立った



本格的な版画を刷ってしおりを作ろう
～那須野が原博物館 版画ワークショップ～

那須野が原博物館で3月18日、輪切りの木を彫った木版を使い、しおりを作るワークショップが行われました。講師は、県内のアート活性化を目的に、美術関係者で組織された「あーとネット・とちぎ」の会員。本格的な版画用卓上油圧プレス機(写真)が用意され、インクを塗った木版と紙をセットした後、十分な圧がかかるまでハンドルを繰り返し押し下げます。力を込めて刷り上がった版画は、ラミネート加工を施してしおりに仕上げられました。



刷られた版画



紡がれていく伝統を神社に奉納
～西富山の獅子舞～

西富山なるかみの雷神社で3月12日、市指定無形民俗文化財の獅子舞が奉納されました。この舞は、元禄3年(1690年)に雷神社が創建された後、5年後の元禄8年(1695年)から奉納されるようになったと伝えられています。大正時代に一度途絶えてしまいましたが、地域の住民が保存会を結成し、平成2年から再び奉納されています。当日は午前10時と午後1時から2回にわたって舞が奉納され、笛と太鼓の音があたりに響き渡りました。

ちっちゃな自然
みつけた

NO. 145

自然を愛そう那須塩原

小さな水たまりに生きる!
～ひげが8本のホトケドジョウ～



水たまりの生き物たち 撮影日時:2017/3/4 撮影場所:塩原(箒川)

ホトケドジョウって?

大きさは4~6cmぐらいで、ドジョウと比べるとずんぐりとした体をしています。市内では、ドンベ、ドンブラなどとも呼ばれています。ひげが10本あるドジョウと違い、ひげが8本あるのが特徴。湧水などがある水がきれいな場所ではしか生息できない日本の固有の魚です。



体長約7cmのホトケドジョウ(成魚)

冬ごもりしていた生き物たちが動き出す日と言われる3月5日の啓蟄。その日を前にして、ポカポカ陽気に誘われた私は、いつものように小さな生き物たちに出会う散歩に出掛けました。

そこは、塩原の箒川沿いにある周囲1mの小さな水たまり。でも、すぐそばに湧水があり、クリスタルのような透明感のある水で満たされています。そーっと近づいて水たまりをのぞき込むと、いました、いました! 小さな魚たちが驚いて、石の下に逃げ込んでいます。誰なのかを確認するために網を入れると、ツチガエル、ウグイ、ヒガシシマドジョウ、そして、今回の主役・ホトケドジョウが入っていました。しかも、4匹も! 2年前の大水害にも負けないで、彼らはこんな小さな水たまりで頑張ってくれていたのです。「よかったよかった」と私が写真撮って、水たまりに彼らを戻すと「またネ!」というように、ゆっくりと石の下へ潜っていきました。

現在ホトケドジョウは、環境省や各県市町村などが発行しているレッドリスト(絶滅のおそれのある野生生物をまとめたもの)の魚類の中で、絶滅のおそれがある種に指定されています。残念ながら市内でも、彼らの生息の場所が年々減っているのが現状。ホトケドジョウを含め、これ以上小さな生き物たちの住みかを減らさないために、私たちができることを一緒に考えていきたいと思います!

あきお

編集後記

春到来。凍える冬を越え、寒暖を繰り返しながらも徐々に暖かみを増すこの季節は、自然と気持ちがワクワクします。晴れた日には市内の景勝地に出かけて、ゆっくりとした時間を過ごしたいところです。

観光を取り上げた今回の特集を書きながら、このまちの魅力あらためて感じました。それぞれの地域に歴史があり、未来に向かって頑張っている人たちがいます。植樹されたハナモモの開花が今から待ち遠しいです。(平石)

ダートトライアルを初見学しました。仕事といえども車好きの私は興奮せずにはいられませんでした。爆音とともに高速で砂利道を走り抜け、土煙を豪快にまき上げながらドリフトでカーブを曲がっていくマシンたち。時折風も吹いていたので、土埃対策も必要でした。レンズを付け替えて撮影したのですが、後日撮影した写真を拡大して確認したところ、あるはずのない黒点がある。レンズ内の埃たちはいつ侵入したのか、それが気になります。(小林)

なすしおばら
珍百景

あなたの"珍"を募集中

《応募方法》

方法① きらきらホット
なすしおばらに投稿
珍百景投稿用フォームに
必要事項を入力。



方法② シティプロモーション課に電話
☎(62)7109

●必要事項

住所、氏名(ペンネーム)、電話番号、年齢、性別、珍百景写真、タイトル、撮影日、コメント(100字程度)

●注意点

※人権侵害、政治・宗教活動、意見広告や宣伝につながるものなど、掲載できない内容があります。
※内容を変えない範囲で添削する場合があります。
※被写体の人物または所有者などに許可を得てから応募してください。
※インターネットなどからの転載はご遠慮ください。
※応募いただいた写真は市の情報発信活動に使わせていただく場合があります。

鳥居の行進



投稿者 花粉は苦手さん(40代男性 共壘社)

撮影場所 井口(撮影日 H29.3.19)

神社にある鳥居って、なんか独特の雰囲気をかもし出していますよね。7基もならんでいると、なおさらって感じです。つい車を止めて撮ってしまいました。

～今月の読者プレゼント～

家で塩原温泉が楽しめる!

日本の名湯「那須塩原」薬用入浴剤(5個)
+オリジナルタオル セット



今回の特集で紹介した塩原温泉が自宅で楽しめます。この機会にぜひお試しください。

渓谷の山々から漂う若葉と松葉の香り。露天に映る木々と渓谷の清流を想わせる、風情のある青緑色のお湯です。塩原温泉観光協会と(株)バスクリンの共同企画商品です。

※プレゼント品を提供いただける事業者を募集しています。詳しくは本シティプロモーション課 ☎(62)7109まで。

3 2 5 8 5 0 1

お手数ですが
52円切手を
貼ってください

那須塩原市役所
シティプロモーション課
「広報なすしおばら係」行

ご住所 □□□-□□□□

那須塩原市

お名前(掲載する場合は実名ではなく、イニシャルで掲載します)

ペンネーム
(希望者のみ)

☎電話

年齢 歳 性別 男・女

読者プレゼントに応募しない場合は☑をいれる □ 応募しない

なすしおばら
げんきびと
元気人

あなたの身近な
元気を募集中



>>>

戸田学園塾生

No. 34

いんなみ はるか
印南 遥 さん

西那須野中学校2年生の印南さん。1年後には高校受験を控えているが、書道は今後も続けたいという。4月上旬には師範の資格を得るための最初の試験に臨む。

※学年は取材時(平成29年3月)のもの。

Pick up



全神経を集中して筆を運ぶ。書いている時でも、常に先生の言葉が頭の中を駆け回っているという



書道の師、戸田^{ふみこ}文子先生(写真右)は、「彼女はとても素直な子で、教えた事もすぐに吸収してしまう。この素直ということが学びには大切で、彼女の力になっていますね」と語る

8年。日頃の努力が実を結んでの受賞だった。

印南さんが書道を始めたのは小学生になってすぐの頃。母親のすすめで戸田学園を訪れたとき、直感で「楽しい」と感じて塾生となった。「始めたころは筆の力加減などがよくわからなくて、難しいなと思ったのですが、戸田先生は問題点などをピンポイントに指摘されるので、とても分かりやすいんです」と先生の後ろ姿を眺める。

先生以外にも先輩からアドバイスをもらうことがあり、この教室の雰囲気がかすこ好きだという。また、4年前から那須地区芸術祭で行っている書道のパフォーマンスでは、教室の仲間みんなで一つの大きな作品を仕上げるのが何よりも楽しいと、嬉しそうに話す。

実は、印南さんは書道以外にもそろばんと英語をこの教室で習っている。「書道やそろばんを通じて外国人と交流する機会がありました。その時彼らは、私の書いた書を『美しい』と、素直に感想を表現してきたんです。日本人と異なるその反応が、とても新鮮で印象的でした。将来は、書道を通して日本の文化を外国の人たちに知ってもらおう活動をしていきたいです」と将来の夢を語ってくれた。書と向き合う彼女のまなざしから、世界を見据えた決意を感じ取ることができた。



少しずつ、少しずつ
それが大きい

先生が大切にしている言葉は「少しずつ少しずつ、それが大きい」。この言葉どおり練習を続けてきて、今の私があるんです。

幼少の頃から続けてきた書道。週2回の教室通い。毎回地道に練習を重ねてきた少女は、遂に全国で頂点に立った。今年1月5日に日本武道館で開催された第53回全日本書初め大展覧会。全国各地から1万6千点の作品が集まった中、最高賞の「内閣総理大臣賞」を受賞した印南遥さんに話を伺った。

「私の通う戸田学園には、過去に内閣総理大臣賞を受賞したことがある先輩がいて、私もいつか取りたいと憧れていました。その賞を実際に取ることができて本当にうれしい」。今回の受賞をそう振り返る印南さん。書道を始めて丸